完成前の足場の使用禁止対策

墜落転落ー22

工事内容	橋梁補修工事
危険性等発生	☐ 災防協パトロール ☒ 店社パトロール ☐ 作業所の巡視 ｜ その他（　　）

危険状況を示す内容・写真

床版端部の仮設足場が未完成の状態で段差や開口部が生じているため措置を講じること

改善記録（写真、略図等）

仮設足場が完成するまでの間、カラーコーンにて立入禁止とした。

具体的な問題点の把握と評価の低減対策の検討

番号	問題点の把握	リスク評価 重大性	可能性	評価	危険度	危険性又は有害性の評価の低減対策	対策後再評価 重大性	可能性	評価	危険度	関係法令	コメント（追記・確認すべき事項）
1	段差に躓いたり、開口部に足を落としたり	3	4	12	B	セーフティコーンを配置し立ち入り禁止区域とした。	3	2	6	D		完成前の足場は必ず立入禁止措置を講じること。
	して転倒する											

重大性	評点	評価基準	可能性	評点	評価基準	評価（乗算）		危険度	危険度の基準
死亡災害	5	死亡又は重度の災害	極めて高い	5	発生する可能性が非常に高い。（三大災害が該当、注意して居ても起こる）	16～25	必須	A	工法、設備などの抜本的な対策が必要。
重度な災害	4	長期入院を要す	高い	4	多く発生する可能性がある。（注意して居れば防ぐ事可能）	12～15	最優先	B	作業内容、作業手順を再検討する必要がある。
中度な災害	3	休業4日以上	ある	3	時々発生する。（注意して居れば殆ど防ぐ事可能）	8～10	優先	C	当該作業箇所の危険要因を低減する必要がある。
軽度な災害	2	休業4日未満	低い	2	まれに発生する可能性がある。（注意して居れば発生しない）	4～6	許容	D	作業開始前に安全指示を行う必要がある。
軽微な災害	1	不休災害	極めて低い	1	ほとんどない。（注意して居なくても発生しない）	1～3	無視	E	特に対策の必要ない。

①再評価の重大性低減措置について（可能性が2以下の場合は、重大性を−2まで低減することができる）